

2009 年度活動計画(案)

1. 全般的な活動計画

(1) 本部 2009 年度事業計画への対応

会報「ナルク」3月号トップ記事として、上記事業計画が発表されたことは、ご存じのとおりです。それには多岐にわたる計画が掲げられていますが、その中から本年度NALC「天の川クラブ」として取り組む課題を次の4点に絞りました。

A. 「子育て研修会」への参加

子育て支援活動としては、従来から志希自然小学校・ふれ愛フリースクエア・子供の安全見守り隊などへの支援活動を進めていますが、本部が本年度から開催する「子育て研修会」に積極的に参加して、新たな子育て支援の切り口を探索します。

B. サロンを多世代交流の会にまで発展

サロン「天の川クラブ」は、2006年7月からテーマをいろいろ持って事務所で催されています。これとは別に、本年度は新たな試みとして誕生月会を開催の予定です。どんな企画になるか、楽しみです。その過程で、一人暮らしマップ・安否確認ネットワークなどができればいいなと考えています。

C. 活動拠点連絡会での交流を

北河内地区には、枚方拠点の他に、守口・門真拠点、寝屋川拠点、四条畷拠点、交野拠点の4拠点があります。これらの拠点に呼びかけ連絡会の開催を試み、拠点それぞれの良い点を学びたいものです。

D. 会員 20 名に 1 名のコーディネーター

会員数から計算すると、39名が必要です。有資格者は63名ですが、コーディネーター会のメンバーは30名です。各地区に2名以上、活動区分ごとに複数体制を目指して、コーディネーターの養成を図ります。

(2) 拠点として取り組む課題

A. 地区活動の一層の充実

会員とのコミュニケーションの一層の進展を図るため、毎月開催される運営委員会に各地区の代表世話人(代理者出席可)が傍聴することを1年間程度試行します。当面、奇数月には奇数番号地区から、偶数月には偶数番号地区から傍聴するようにします。

B. 活動別登録制度の検討

「天の川クラブ」では、過去に2回「会員アンケート」として全会員を対象に、時間預託活動・奉仕活動・文化スポーツ活動などへの参画意向調査を行いました。その2回目は、2003年11月に実施され、約5年半が経過しています。当時アンケートに答えた方の内容は当時のままです。その後の入会者にも同じ内容のアンケートが用いられてきました。

今年度には新たな形で、例えば「時間預託活動登録」制度(仮称、NALCのほとんどの拠点では実施中)をスタートさせる予定です。時間預託ボランティア活動について、活動希望項目を登録しておき、コーディネーターはこれを必要に応じ参照してより効率的にコーディネートを実施できるようにします。上記登録は、一定

期間ごとに更新できるようにしたいと考えています。

2. 時間預託活動

担当 近藤秀子・三津輝雄

時間預託活動の 2009 年度計画は 9,500 点です。会員相互扶助活動は前年度並みで推移する計画ですが、福祉施設活動は大幅な減少になります。その要因は、交野へ移管した施設分が 600 点減、サンセール香里園の「生け花」「フローアの手伝い」活動時間の短縮によるものと、10 月以降は「フローアの手伝い」が施設の都合により中止となるためです。

会員相互扶助活動を活性化するには、家事介助の提供者を増やす必要があります。家事介助、庭の手入れ、ハウスヘルパー、送迎、パソコン指導などの活動がもっと活発になるよう遠慮なく申し出てください。

(1) 会員相互扶助活動

会員の依頼を受けて、コーディネーターが提供可能と判断した場合、日常生活上必要な下記の提供活動に取り組み、利用者の在宅支援をします。

・家事介助支援

家事全般（買い物・掃除・食事づくり・話し相手・散歩の付き添いなど）社会全体の高齢化が進み、介護技術を要する事例が増えてきます。支援要請に対応できるよう養成講座を通じて、提供者のレベルアップを図ります。

・庭・植木の手入れ

会員に代わり庭木の手入れや、留守中の水遣り等を行います。作業内容別に提供者資料を作成して、依頼内容に即対応できる体制づくりを行ないます。

・ハウスヘルパー（便利屋）

広く浅くボランティア提供してもらうために、DIYができる会員を掘り起こし、各会員の専門スキルの把握に努めます。

・送迎

外出、移動の困難な会員に対して、行動範囲を広げ、生活の質が向上するように手助けする支援で、ますます需要の増える分野です。会報、地区会などを通じて利用者の拡大を図ると共に、アンケート、面談情報により提供者の増員に努力します。

・パソコン

利用者のニーズに基づき、さまざまな指導助言を行ないます。利用者自宅への出張指導を中心としますが、形態については、講師と利用者の話し合いで決めます。また電話やメールによる指導も取り入れて、利用者拡大に配慮します。

・生活研究アドバイザーは、企業が高齢者のニーズを捉え反映する目的で、ナルク本部に依頼がある時、生活アドバイザー登録会員に対し要請する制度ですが近年は少なくなっています。

・その他技能提供ボランティアは、枚方市からの受託事業「生きがい創造学園」の運営の中で一部提供活動を行っています。

(2) 福祉施設活動

・サンセール香里園

活動内容は、「おやつ作り」「習字の指導」「茶道クラブ」「生け花」「脳の健康教室」「フローアの手伝い」と多岐に亘っています。各活動とも真摯な活動振りを

施設から評価されていますが、先方の事情で活動時間が短縮され、下期には中止になる活動「フローアの手伝い」もあり実績は大きく減少する予定です。

- ・エイジフリー・ライフ星が丘

活動内容は、「カフェ星が丘」「手芸教室」「庭の管理」「リビングの手伝い」「話し相手」などです。「リビングの手伝い」は1680点、朝・昼・夕食のお手伝いで、多くの提供者が関わっています。「話し相手」540点で提供者と入居者さんとの触れ合いが喜ばれています。ナルク会員の最も得意とする活動だといえます。本年度も前年度並みの実績を計画しています。

- ・グループホーム「花梨」

活動内容は、入居者への書道の指導です。今年度も継続して活動の予定です。

3. 奉仕活動

担当 三津輝雄

(1) 福祉支援

市内の「サンポエム」、「エイジフリー・ライフ星ヶ丘」、「ひらかた聖徳園」での花見・お祭・敬老の日・文化祭・餅つきなどのスポット的季節行事を支援する奉仕活動です。「サンポエム」ではディサービスの食堂での配膳・下げ膳のお手伝いが1999年以来続けられています。これらはいずれも地道な活動で、提供者の真摯なボランティア精神に支えられています。今年度もより多くの方々の参加を希望します。

(2) 子育て支援

「志希自然小学校」の支援は、農園作業を通じて子どもたちとの触れ合いの育成活動を10年続けて行っています。2002年度から継続している「ふれ愛・フリースクエア」は、竹細工および『遊びの玉手箱』を通じての支援。2006年度からNALCとして全国展開している小学生通学の見守り「子どもの安全見守り隊」。少子化が続く中、これらそれぞれの子育て支援に、より多くの参加を期待しています。

(3) 環境美化

NALC設立5周年を機に2000年4月に「クリーン枚方大作戦」と銘打って始めた天野川清掃活動（2004年7月からは、「アドプト・リバー・NALC天野川」として大阪府枚方土木事務所との協定により実施中）は9年目に入り、従来よりも活動の頻度を上げて、より活発化しています。同じく大阪府枚方土木事務所の呼びかけによる道路清掃にも積極的に参加しています。また、枚方市からの呼びかけで2001年度に始めた「クリーン・アダプト岡東中央公園」（2002年度途中からは、「クリーン・アダプト楠葉中央公園および駅前」）も9年目の活動として定着しています。これらの活動を通じて「天の川クラブ」活動地域がより良い住環境になることに少しでもお役に立てればと考えています。

(4) その他活動と「天の川クラブ」内奉仕活動

上記以外の奉仕活動として、例えばコミュニティづくり・募金活動への参加など、および「天の川クラブ」内部活動全般を支える各種奉仕活動です。

4. 事業活動

担当 野村文夫

(1) 枚方市在宅生活援助事業

従来の軽度生活援助事業は在宅生活援助事業と改名されました。それに伴って事

業の幅が少し広がり介護保険サービスでは対象外の「部屋の模様替え」などの軽易な生活援助を年間2回まで行えるようになり、将来の活動の広がりも望めます。(利用者負担あり)

今年度も前年度比約30%減少の見込みでしたが、この新たな活動にも積極的に対応するため、提供点数600点を目標にします。提供会員数は60名程度を確保する予定です。

(2) 生きがい創造学園

講座の内容を市民の要望に添わせるため次のように講座を改善します。

- ・「ちぎり絵講座」を廃講し、新たに「つまみ絵講座」を開講
- ・太極拳講座を普通講座から短期講座10回に変更
- ・健康体操を新たに短期講座として開講

(3) 生涯学習情報プラザ

今年度の活動のポイントは次の通りです。

- ・子供たちのための「楽しいパソコン教室」(2コース)を定期的の実施し、パソコンの楽しい使い方を知ってもらい、IT体験ルームの利用増大を計ります。
実施回数 学校(春・夏・冬)休み中に4回実施予定
- ・ミニ体験講座を継続実施し、パソコン未経験者への入門アドバイスをを行います。
実施回数 210回
- ・子供たちのパソコン利用状況をウオッチし、不適切URLフィルタリングをきめ細かく行います。
- ・枚方市民の情報力向上に資するための新たな活動テーマを検討し、実行に結びつけます。

5. 文化・スポーツ活動

担当 石西正子

本年も文化活動8クラブ、スポーツ活動4クラブの、計12クラブが活動を行い、これらの活動を通じて会員の交流と親睦を深め、心身の健康と若さを保ち、会員の生きがいに寄与していくこととします。

6. 会員活動の促進

担当 上田卓是

会員数800名弱の「天の川クラブ」、各分野の活動がより一層進展・活発化することを狙い、全員参加を目指し次の活動を実施します。これらの活動には、それぞれ一定の補助を継続できる予定です。

(1) 地区会

年2回開催はほとんどの地区で定着化しており、今後ともより多くの方が参加できるように一層の工夫を図り、全員参加を目指します。

(2) 会員研修

前年度に引き続き、会員のボランティアとしての知識・技能の向上を図るため、ナルク介護サポーター研修・コーディネーター養成講座などを計画します。また、本部で開催されるコーディネーターレベルアップ研修・リーダー養成講座への参加をお勧めします。

(3) イベント

すでに開催されたナルク 15 周年記念事業は、当拠点からも 169 名の参加者を得て、NALC 歴史の 1 ページを飾る予定でした。しかしながら、記念植樹を含めた、中山道ふれあい・エコウォーク以外は、すべて延期となり、本年 8 月 10 日（月）に実施することになりました。当初の予定人数を上回る参加を期待します。それに加え本年度も、『秋のつどい』や日帰りバス旅行などを継続して実施します。

(4) 活動区分別交流会

「天の川クラブ」にはいろんな活動がありますが、同じ活動をしていても、仲間同士の意思疎通は取りにくいものです。当交流会を開催・参加することを通じて、お互いにコミュニケーションを深め、より自信を持って活動を続けましょう。いろいろなグループでの積極的な開催をお勧めします。

(5) 今年度は新しい企画として、2 ヶ月毎での誕生日会を立ち上げる予定です。奮って参加しましょう。

7. 事務局活動

担当 和田亮吉

NALC「天の川クラブ」は、昨年交野地区が分離独立したため、一時的に会員の減少は見られたものの本年度末には 800 名を予想しています。時間預託活動は 9,500 点、奉仕活動は 7,600 点、文化・スポーツ活動は延べ 2,400 名を計画し、事務処理は前年度と比べ減少は見込めません。

私たち事務局スタッフは、事務処理を停滞させないよう本年度も進めます。

- (1) 新会員の方には従来通り、事務所当番をしていただき早期に NALC「天の川クラブ」を理解し、親しみをもって今後の活動に寄与していただきます。
- (2) 事務処理の繁雑さを防止するため、事務局スタッフ会議の充実を図っていきます。
- (3) 交野拠点とは姉妹拠点として、今後も連携を図っていきます。